



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

次郎週間

今週末の5月25日は、土曜開校日となっています。9時から、1年生から5年生までの通常の授業参観で、10時から、「次郎とのふれあい集会」で、6年生の劇を公開します。

この「次郎とのふれあい集会」がある1週間を、「次郎週間」と定め、各学年で下村湖人先生や「次郎物語」についての学習をしています。

5月21日には、下村湖人生家の島館長さんをお招きして、1年生と2年生に「次郎と東部小」についてお話をいただきました。島館長さんは、本校の元校長先生で、東部小のことも次郎物語のこともとてもよくご存知です。

子供たちが生活するこの東部小の校区が、まさに次郎物語の舞台です。スライドの写真を見ながら「あっ、ここ知ってる！」などと子供たちは声をあげていました。また、紙芝居を通して次郎や下村湖人先生の人柄、物語に込められたテーマなどを教えてもらいました。



次郎や下村湖人先生について、知れば知るほど、物語が楽しくなってくるなと思いました。私も小学生のころに読んだのですが、大人になって再び読み直すと、別の新たな発見がありました。これからもう一度読むと、さらに新たな発見があるかもしれません。おうちの方でも、下村湖人先生の「次郎物語」にぜひ触れさせてください。



あいさつ運動ありがとうございました

5月17日の朝に、民生委員の方々がおいでになり、あいさつ運動をしてくださいました。

たくさんの民生委員の方のお出迎えに、子供たちもびっくりしながらの登校でした。

あいさつは、社会生活を行う上での基本です。あいさつをすることは、とても大切なことだと思っています。あいさつをしっかりとできる子供に育てていきたいと思っています。



SAGA2024 国スポ・全障スポを盛り上げよう

今年の10月を中心に佐賀県で行われる、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を盛り上げるため、県から学校を訪問されました。

5月21日の5・6時間目に、5・6年生を対象に、大会のPRと競技の体験をさせていただきました。

体験したのは、「ポッチャ」というカーリングのようなスポーツです。赤、青の両チームが白いボールに向かってボールを投げ入れ、なるべく近くにボールを寄せた方が勝ちというゲームです。これが、技術だけでなく頭も使う奥の深いスポーツでした。この「ポッチャ」は、体にハンデをもたれた方も楽しめるようにルールや道具が工夫されています。「すべての人に、スポーツのチカラを。」を合言葉に行われるこのSAGA2024を象徴するようなスポーツでした。

子供たちはみんな楽しく参加し、時間が来ても「あと1ゲームしたい！」というような盛り上がりでした。

SAGA2024は、全国トップレベルのアスリートの競技が見られるだけでなく、様々な形で参加やかわりをもつことができるそうです。佐賀で行われるこの大会に、何らかの形で子供たちにもかかわりをもってほしいなと思いました。詳しくは、ホームページをご覧くださいとのことでした。

